

磐城時報

福島縣石城郡平町岩屋町十四
編輯兼發行所 平町 弘一 成
印刷所 磐城印刷所
電話 一二三四五
代印 印刷物
廣告費 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年九十元
定額 一月一元 三月二元 半年三元 一年四元
電話 一二三四五
發行所 平町 弘一 成

現在では昨年より 稲の發育が悪い

石城地方稲作況

石城地方の稲作は郡駐在藤尾技師が目下第二回の調査を行つてゐるが之について同技師は語る。「今年には田植後の気温が、平均して昨年度より低いため成育が非常に遅く場所によつては稲熱病も発生してゐるからこの分では昨年より幾分の減收ではないかと思はれる。然し收穫を左右するのは土中の天候によるもので前年と比べると六月の気温は高く七月は低かつたが土用から八月にかけての気温が高ければ稲は良好に發育し豫期以上の收穫を得らるゝかも知れない。この際農家としては害虫驅除を勵行し稲熱病を防ぐため硫酸アンモニア等の肥料は施さず過磷酸石灰等のみを施すべきである。」

四倉市場 春蘭成績

石城郡販賣利用組合役員會は十八日午前十一時から平町元石城夏期に新坑を開鑿すること、決郡役所に開き本年一月以來の事定額有監視されてゐる。

古河に新斜坑 前途有望視さる

石城郡好間村古河炭礦では今北好間ボーリングが着炭を見ることとなつたが右炭層は五尺乃至六尺の厚層で炭質も良好であるがため二百萬圓を投じて本年八月午前十時から平町元石城夏期に新坑を開鑿すること、決郡役所に開き本年一月以來の事定額有監視されてゐる。

竣工したばかりで 漁船が大きくなつたため 漁業組合で開鑿陳情

江名築港は全く完成し過般縣知事、二十噸級の漁船ならこれに充分間にあふわけであるが、祝賀式を挙げて同築港は、最新二十噸二十五馬力級の船を本年の漁場は海岸を去る二百哩入る目的でこの計画によつて、工事を行つたため現在の水深は、従つても甚だしいのは永戸村大字渡満潮時十尺、干潮時は六尺に過漁船も従来二十噸位であつたの

が三十五噸、四十噸級のものと七十噸力内外のものとなつたため、十尺位の深さでは之等漁船を碇泊せしむるには不能を感ずるに至つたので江名漁業組合では更に港底開鑿方を陳情すべく調査中である。

本年の鯉魚 三十萬圓を突破

磐城各級に於ける本年の鯉魚は、既に二十萬圓を漁獲、四倉では獲り急ぐのが遺憾

自動車で 墜落した人

江名町大字江名字北野野清は去る九日自動車で歸宅の途中、二丈余の断崖から自動車墜落し、一時人事不省に陥つたが江名駐在高橋巡査の人工呼吸で蘇生したので十八日金一封を同巡査に贈つて賞ひ度いと平署長に願ひ出た。

武道稽古

平警察署では二十日から八月二日迄毎日午後三時から四時迄平演武場に於て武道の稽古を行ふ等、一般参加者を希望する。

和田、尾形兩氏の喧嘩で 中田氏等が仲裁役

産業組合は組合員の福利増進の目的で設立されてゐるのに、石城販賣利用組合が営利會社である片倉製炭製糸會社の株券集に奔走してゐるといふ噂が、中田氏等が仲裁役

入山炭礦で 公設市場 愈々開設

石城郡湯本町入山採炭會社従業員の根據地たる八仙五坑の所謂日用品は右市場において販賣せ

預金の賣買に應じよ 取扱ひは親切迅速

平町仲田町 株式店 電話六五番

と云ふので市場開設の結果不況の炭界に一つの光明を見出さるものゝ如く附近居住者は非常に喜んでゐる。置さるるす 恥をさらす あはてた米屋 平町米穀商富永一郎(三三)は十四日午後七時頃富岡町花月に登る等であるがこれがため町商四日午後七時頃富岡町花月に登る等であるがこれがため町商四日午後七時頃富岡町花月に登る等であるがこれがため町商

の如く組合は地方民の利益を計る會社であり製糸會社は營利を目的とするもので根本から相容れぬ。奔走ごころか提議もしてゐるが、この聲明書を出されて困つたのは片倉製糸側でその幹部に寝食を忘れて、石城製炭製糸組合長和田甚内氏は烈火の如く怒り狂ふて十七日元石城郡街に來り大聲一番、妨害するは怪しからぬと尾形氏に喰つてかゝる。賣

られた喧嘩を買つた尾形氏も滔々として立て名士の喧嘩はしばし繼續。横合から功勞株云々と和田氏を煽るものも一、そのうち「職務」といふ一本調子だから困る」と和田氏が言へば、「こゝが違つてゐる」と頭に手を上げて和田氏を冷かすなど、この位の事で物別れとなつた。

た酒井氏が中田氏を別室に呼んで仲裁の相談を始め。恰度その時刻である。平町役場には製糸會社側の町當局、青沼善太郎、若垂片倉社員其他が聲明書問題について鳩首協議中で、岩垂社員等は喧嘩のまゝで事業をすゝめても好いが、と強く出る一方また、有力な製糸家で組合員である者が約五百五十名に達してゐる。このまゝでは株式募集に支障を來す、といふのが青沼氏等の意見で結局組合へ諒解を求め事に決つた。さるにても近頃珍らしい喧嘩の成行きが見ものである。

國有雜種地 拂下金整理

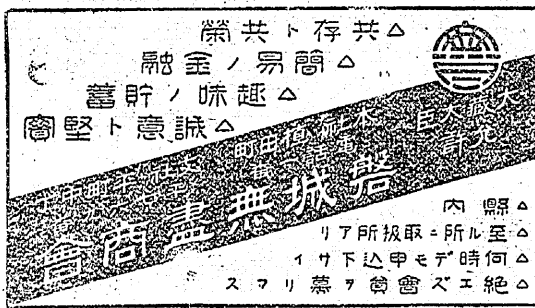
平稅務署は先年來管内一圓に亘つて國有雜種財産の整理に從事し繰返者に対する拂下處分着進行してゐるがひとり三坂村の分は拂下件數頗る多數に上り現在拂下代金の未納二萬圓以上に達してゐるので國部署長自ら同地に出張兩三日來各關係者に對して納人の督勵中なるも明治初年の改組當時から無税のまま殆んど自己の所有地同様公然耕作に使用し來つた土地に對して今にはかに拂下代金を徴収する關係一般に納付義務の觀念希有なるため稅務當局の手續もなみ大抵ならぬものがある様である。

青訓所で 入所生募集

石城郡内の各青年訓練所は四五の例外をのぞいた以外は入所生が比較的少く殊に平町の如きは僅なものであつた、これは訓練所の効果について不安をいだいてゐる結果と見られてゐたが、昭和元年に青年訓練を了して若松歩兵第二十九聯隊に入營した石城郡江名町津島清、坂本清治の兩君は成績優良をもつて在營年限を五ヶ月間短縮の恩命に浴して此程歸郷した、之をきいた各町村青年訓練所では盛んに宣傳をなし入所生をまじ優秀な成績をあげるべく努力中である。

名望家 岡田氏逝く

平町鎌田岡田治作氏は過般來でダイナマイトを使用し漁獲中病氣にて靜養中の處、病草まじり平野金田巡査に捕はれた。



緑肥栽培講演

平野村農會の苗代品評會褒賞授與式は二十三日午後一時から同村小学校で舉行し終つて神尾、鈴木兩技手の緑肥栽培に關する講演がある。

爆薬で 魚を捕る

永戸村荷馬車軌道木常治(四三)は十八日午前七時頃同村好間川でダイナマイトを使用し漁獲中病氣にて靜養中の處、病草まじり平野金田巡査に捕はれた。

貸家
新川町十七
商店向(月十七圓)
新川町
中野勇吉

腸胃科
腸胃科 専門
婦人病 淋病 皮膚病
平野村病院

大和田醫院
耳鼻咽喉科
平野町南町
電話一七〇番

外科
入院隨意
上野外科醫院
南町電話二二九

高久病院
内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科
院長高久忠
平野町電話二三五

喫茶部披露

七月九日より開始致しました
どうぞ、御散歩がてら是非
立寄り下さいませ。

定價表	
コーヒ	10
一茶	10
紅ミル	10
ココア	20
ソーダ	15
アイスクリーム	15
菓子一皿	10
サンドイツ	30
トーストパン	10

(横行銀平)目丁三町平
店支二第ニデアトキ野永
部茶喫

地球は廻る

◆開館十二週年紀念大興行◆

◆過去篇◆
原始時代の人類棲息... 戦國時代の争闘... 維新の志士... 上野黒門口に西郷の部下... 本多は捕はれた... 日本臣民は平等の民となつた... 地球は断絶に廻る...

◆現代篇◆
電氣技士の多岐... 愛人と子の戀愛の渦巻... 本多の森山... 祖父の仇敵關係... 破綻の突如... 空中に一大音響... 外敵の襲來

◆空想篇◆
我首都既に危し... 戦宣告... 森山の戦車の出動... 文明武器の戦... 死の戦の負傷... 平和に安んぜず... 國難來るを思へ... 然らば凡ての思ふ闘争は我國土より消へ去るであらう...

◆地球は廻る◆
東都第一流 双葉愛子嬢獨唱
日活時代超作品
尾上多見太郎主演
七月十九日より
土曜學生デー
平野村
◆全國協定◆
◆料金打破◆
◆謝恩の爲め料金普通◆

夏の飲料

- ◆サッポロビール◆
- ◆金線サイダー◆
- ◆純粕取焼酎◆(空瓶交換)

御注文次第直ちに配達いたします

平野四丁目平野通り
永山酒造店出張販賣所
電話二〇七番

學生服

厚本霜降小倉
小學生向(金一圓 圓ヨリ)
中學生向(金貳圓四十五錢ヨリ)

なかや洋服店
平野二丁目(電話二〇三)

印刷物の御用は... 加納活版所

父治作儀病氣加療中藥

石其効ヲ奏セズシテ今十八日午前五時十五分永眠仕候
明後二十日午後一時自宅出棺
神谷村弘源寺ニ於テ佛式ニテ埋葬相營ミ申候
略儀以紙上御通知申上候

昭和三年七月十八日

男 岡田千藏
外親 岡田一